

# ひよどり台歯科クリニック



## 矯正治療症例集

Correction case





治療前

治療後



混合歯列期（前歯と奥歯が永久歯）に床装置で拡大  
永久歯列期（全てが永久歯）に抜歯をせずに配列しました。



# 乱杭歯（らんぐいば）を治療した症例 8歳 女性



治療前



治療後



治療中

ブラケットと言う装置で前歯のガタガタした歯並びを治しました。



治療前



治療後



この患者さまは、出っ歯（上顎前突）を気にされて来院しました。  
上の前歯の隙間もなくなり、とても綺麗な歯並びになりました。



治療前



治療後



上下の顎（あご）を前方・側方へ拡大、前方牽引装置で上の顎（あご）の骨の成長促進し、  
歯並び全体の前方移動を行いました。

経過観察後、永久歯列期（全てが永久歯）に再度矯正治療をする予定です。



治療前



治療後



上の小白歯を2本抜歯してマルチブラケットと言う装置で治療しました。



# 乱杭歯（らんぐいば）を治療した症例 20代女性



## 治療前

## 治療後



上下の小白歯を4本抜歯してマルチブラケットで治療しました。お顔の表情も変わり、満足しておられます。



治療前

治療後



右上の奥から2番目の歯を虫歯で抜歯、左上の奥から3番目の歯のない所と共に後方の歯を移動して代用しました。上下前歯のガタガタした歯並びも治療し、かみ合わせも良くなっています。



治療前



治療後



混合歯列期（前歯と奥歯が永久歯）に前方、側方拡大、マルチブラケットによる前歯の配列、上顎骨前方牽引装置で上の顎（あご）の成長促進、歯並び全体の前方移動を行った。経過観察後、永久歯列期（全てが永久歯）にて治療予定。



治療前

治療後



混合歯列期（前歯と奥歯が永久歯）に前方、側方拡大、上顎骨前方牽引装置にて上の顎（あご）の成長促進、歯列全体の前方移動を行った



# 乱杭歯（らんぐいば）を治療した症例 20代女性



## 治療前

## 治療後



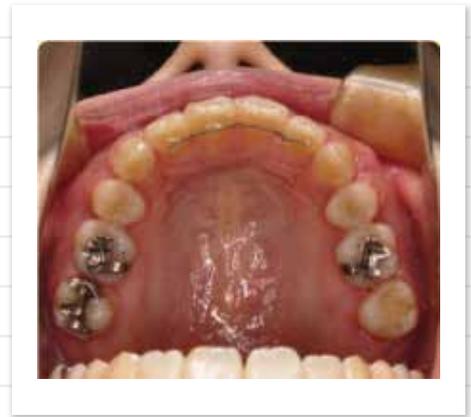
永久歯列期（全てが永久歯）に歯を抜かずにブラケット装置で、前歯のガタガタした歯並びを治療しています。



治療前



治療後



上の小臼歯を2本抜歯してマルチブラケットで治療しました。



# 乱杭歯（らんぐいば）を治療した症例 9歳 女性



## 治療前

## 治療後

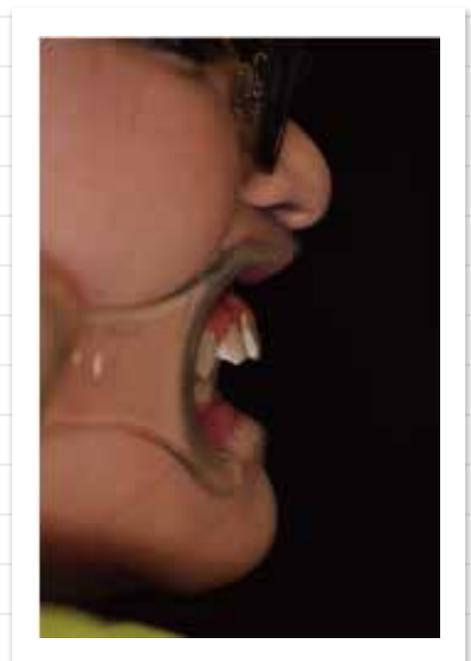


上下の歯を固定式拡大装置で治療しました。



治療前

治療後



上下の歯を固定式拡大装置で治療しました。



# 交叉咬合（こうさこうごう）を治療した症例 9歳 男性



治療前



治療後



交叉咬合（こうさこうごう）とは、上の奥歯が下の奥歯の内側で噛み合わされていて上下が逆の噛み合わせの事です。固定式拡大装置とブラケット装置で治療しました。



## 治療前



## 治療後



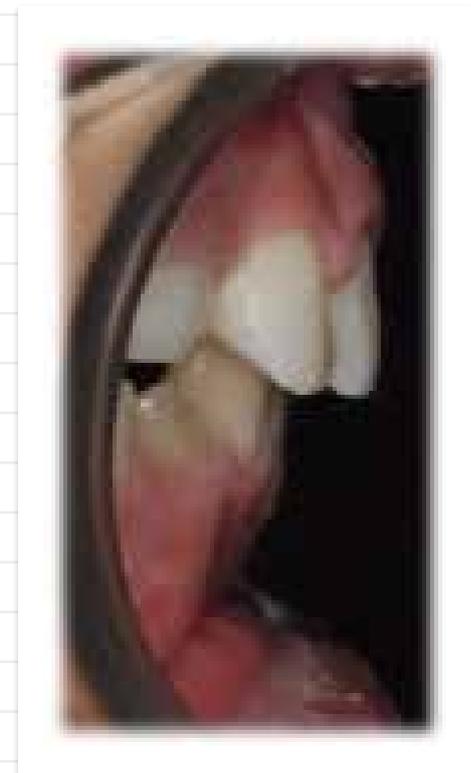
## 治療中

受け口は不正咬合の中でも、治療が最も難しい噛み合わせです。  
受け口のまま歯列が完成してしまうと、外科矯正といって手術をしないと  
歯並びを改善できないケースに発展するかもしれません。  
この患者さまはムーシールドと言う装置で6ヶ月程で受け口が改善しました。



治療前

治療後



固定式拡大装置にて、上の顎（あご）を前方、および側方へ拡大しました。

前歯のかみ合わせは3ヶ月で劇的に改善！

その後、前方牽引装置にて上顎骨の前方への成長促進を行いました。成長のコントロールですね。

患者さまは大変満足されています。



治療前



治療後



固定式拡大装置とブラケット装置で、前歯のガタガタした歯並びだけを治しました。

経過観察後、永久歯列期に再度仕上げの全顎矯正をするかしないかを患者さまと相談しながら決めていきます。



治療前



治療後



マルチブラケットという装置をつけて治療しました。

上の小白歯を2本抜歯して治療しました。

仕上がりはご覧のとおりです。

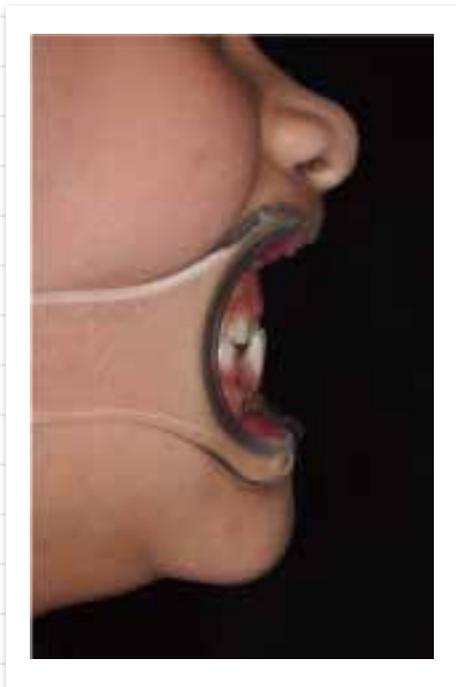
とても綺麗な歯並びになりました。

お顔の表情も変わり、満足されております。



治療前

治療後



上下の顎（あご）を前方・側方へ拡大、前方牽引装置で上の顎（あご）の骨の成長促進し、  
歯並び全体の前方移動を行いました。

経過観察後、永久歯列期（全てが永久歯）に再度矯正治療をする予定です。

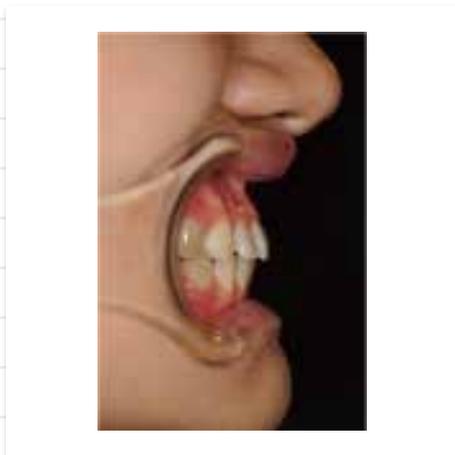
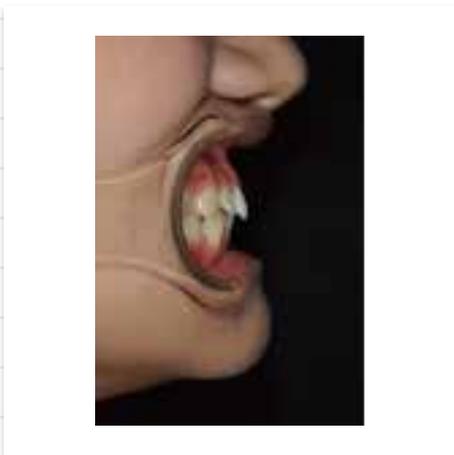


# 出っ歯と乱杭歯（らんぐいば）を治療した症例 10代女性



治療前

治療後



マルチブラケットによる治療。経過観察中。

さまざまな不正咬合を、最適な治療法により



審美・機能的に改善した症例群



治療前

治療後





## 治療前

## 治療後



不正咬合と言ってもさまざまなケースがあり、単純な出っ歯や受け口だけのケースはありません。出っ歯でかつ乱杭歯（らんぐいば）や、受け口でかつすきっ歯など、複雑なケースがほとんどです。各々のケースに最適な治療法を選択するために、事前の診断と説明に力を注いでいます。